



アクセス制御設定

- [アクセス制御 \(1 ページ\)](#)
- [管理者アカウントとユーザアカウント \(1 ページ\)](#)
- [ユーザアクセス属性 \(2 ページ\)](#)
- [ユーザー設定属性 \(3 ページ\)](#)
- [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス \(3 ページ\)](#)
- [デフォルトで HTTPS を有効にする \(4 ページ\)](#)
- [電話機の設定へのアクセスを制御する \(5 ページ\)](#)
- [\[パスワードの設定 \(Set Password\) \] 画面のバイパス \(10 ページ\)](#)

アクセス制御

<Phone-UI-User-Mode> パラメータが有効の場合、電話機の GUI では、GUI がメニュー項目を表す場合、関連パラメータのユーザーアクセス属性が考慮されます。

単一の設定パラメータに関連付けられているメニューエントリの場合

- パラメータを「ua=na」（「ua」は「ユーザアクセス」を表す）属性でプロビジョニングすると、エントリは表示されなくなります。
- パラメータを「ua=ro」属性でプロビジョニングすると、エントリは読み取り専用となり、編集できなくなります。

複数の設定パラメータに関連付けられているメニューエントリの場合

- すべての関連パラメータを「ua=na」属性でプロビジョニングすると、エントリは表示されなくなります。

管理者アカウントとユーザアカウント

Cisco IP 電話 ファームウェアは、特定の管理者アカウントとユーザアカウントを提供します。これらのアカウントは特定のログイン権限を提供します。管理者アカウント名は **admin** で、ユーザアカウント名は **user** です。これらのアカウント名は変更できません。

admin アカウントでは、サービスプロバイダーまたは付加価値リセラー（VAR）の設定アクセスが Cisco IP 電話に提供されます。**user** アカウントでは、限定的な設定可能制御がデバイスのエンドユーザに提供されます。

user アカウントと **admin** アカウントは個別にパスワードで保護することができます。サービスプロバイダーが管理者アカウントパスワードを設定した場合は、[管理ログイン（Admin Login）] をクリックしたときに、その入力が求められます。パスワードがまだ存在しない場合は、画面が更新され、管理パラメータが表示されます。デフォルトのパスワードは管理者アカウントとユーザアカウントのどちらにも割り当てられません。パスワードの割り当てと変更が行えるのは、管理者アカウントだけです。

管理者アカウントは、ユーザログインに使用可能な Web パラメータを含むすべての Web プロファイルパラメータを表示して変更できます。Cisco IP 電話システム管理者は、ユーザアカウントがプロビジョニングプロファイルを使用して表示および変更できるパラメータをさらに制限することができます。

ユーザアカウントが使用可能な設定パラメータは Cisco IP 電話上で設定できます。電話機の Web ユーザインターフェイスへのユーザアクセスは無効にすることができます。

ユーザアクセス属性

ユーザアクセス（**ua**）属性制御は、ユーザアカウントによるアクセスを変更するために使用場合があります。**ua** 属性を指定しない場合、既存のユーザアクセス設定が保持されます。この属性は、管理者アカウントによるアクセスに影響しません。

ua 属性が存在する場合、次のいずれかの値が必要です。

- na：アクセスなし
- ro：読み取り専用
- rw：読み取りと書き込み
- y：値の保持

y 値は、**na**、**ro**、または **rw** とともに使用する必要があります。

次の例は、**ua** 属性を示しています。**ua** 属性が **rw** に更新された最後の回線で、ステーション名フィールド（トラベルエージェント 1）が保持されていることに注意してください。**y** が含まれていない場合、トラベルエージェント 1 が上書きされます。

```
<flat-profile>
  <SIP_TOS_DiffServ_Value_1_ ua="na"/>
  <Dial_Plan_1_ ua="ro"/>
  <Dial_Plan_2_ ua="rw"/>
  <Station_Name ua="rw" preserve-value="y">Travel Agent 1</Station_Name></flat-profile>
```

ua オプションの値は二重引用符で囲む必要があります。

ユーザー設定属性

user-pref 属性を使用すると、ユーザーの好みの値を設定して、ユーザーにシームレスなエクスペリエンスを提供できます。しかし、ユーザーは電話または電話の管理ウェブページからさらに変更を加えることができます。ユーザーが変更したパラメータは、**um** 属性で「ユーザーによる変更」としてマークされます。ユーザーが行った変更はすべて保存されます。**user-pref** は、XML 設定を使用してプロビジョニング中に更新でき、[プロファイルルール (Profile Rule)] パラメータで提供されます。

user-pref 属性は必須ではありません。ですが、属性が存在する場合、次のいずれかの値が必要です。

- **y** : 設定中にユーザーが加えた変更を反映することを示します。また、ユーザーが変更していない場合は、管理者が設定した値を設定することも指定します。
- **n** : XML 設定を通じて提供される管理者設定値を受け入れることを示します。**user-pref** 属性が含まれていない場合、**user-pref** 属性は値を「n」に設定したのと同じ効果があります。

次の例は、**user-pref** 属性を示しています。

```
<flat-profile>
  <Display_Brightness ua="rw" user-pref="y">5</Display_Brightness>
</flat-profile>
```

ユーザーが値を変更すると、その変更は **um="y"** として追跡されます。**um** 属性では、**um** を使用してプロビジョニングにより更新されません。電話から取得した XML 設定で表示されません。

次の例は、**um** 属性を示しています。

```
<flat-profile>
  <Display_Brightness ua="rw" user-pref="y" um="y">5</Display_Brightness>
</flat-profile>
```

工場出荷時の状態へリセットすると、**um** および **user-pref** 属性でマークされたすべての設定がクリアされます。

プロビジョニング中、任意のパラメータに属性 **user-pref="n"** が追加されている場合、設定の適用後にパラメータの属性 **user-pref** が「n」に更新され、**um** も削除されます。

電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス

電話機のファームウェアには、一部のパラメータへのエンドユーザーアクセスを制限する機能があります。ファームウェアは、**管理者**アカウントまたは**ユーザ**アカウントにサインインするための特定の権限を提供します。それぞれ、個別にパスワードで保護することができます。

- **管理者**アカウント : すべての管理 Web サーバ パラメータへのフルアクセスを許可します。

- ユーザアカウント：管理 Web サーバパラメータのサブセットにアクセスすることができません。

サービスプロバイダーが設定ユーティリティへのアクセスを無効にしている場合は、続行する前にサービスプロバイダーにお問い合わせください。

手順

ステップ 1 コンピュータが電話機と通信できることを確認します。使用中の VPN はありません。

ステップ 2 Web ブラウザを起動します。

ステップ 3 Web ブラウザのアドレスバーに、電話機の IP アドレスを入力します。

- ユーザーのアクセス先：`http://<ip address>`
- 管理者のアクセス先：`http://<ip address>/admin/advanced`
- 管理者のアクセス先：`http://<ip address>`、[管理者ログイン (Admin Login)] をクリックし、[詳細 (advanced)] をクリックします。

例：`https://10.64.84.147/admin`

ステップ 4 プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。

デフォルトで HTTPS を有効にする

電話管理ウェブページにデフォルトでアクセスするには、**HTTPS** を有効にする必要があります。

- [プロトコルの有効化 (Enable Protocol)] を **HTTPS** および [Web サーバーポート (Web Server Port)] を **443** に値を設定し、電話を工場出荷時の状態にリセットします。工場出荷時の状態へのリセット後、両方の値は変更されないまま残り、ユーザーが `http://<ip address>` または `http://<ip address>:80` で電話管理のウェブページにアクセスする場合、HTTPS がデフォルトとして設定されている場合、URL は `https://<ip address>:443` にリダイレクトされます。
- 電話がファームウェアリリース 12.0(3) にアップグレードし、パラメータの値を変更しても、URL はデフォルトで `https://phone IP:443` にリダイレクトされ、電話管理ウェブページにアクセスします。
- 工場出荷時の状態へのリセット後、[ウェブサーバーポート (Web Server Port)] を **80** および [プロトコルの有効化 (Enable Protocol)] を **HTTP** に変更した場合、ユーザーは、`http://phone IP:80` で電話管理のウェブページにアクセスできませんが、`https://phone IP:80` でページにアクセスできます。
- 電話がファームウェアリリース 12.0(3) にアップグレードされた場合、ユーザーは **https** プロトコルを使用することによってのみ、電話管理のウェブページにアクセスできます。

始める前に

- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス \(3 ページ\)](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [システム (System)] を選択します。

ステップ 2 [システム設定 (System Configuration)] セクションで、[プロトコルの有効化 (Enable Protocol)] パラメータを **HTTPS** および [ウェブサーバーポート (Web Server Port)] パラメータを **443** に設定します。

このパラメータは、電話機の設定ファイル (cfg.xml) のパラメータでも有効にできます。

```
<Enable_Protocol ua="na">Https</Enable_Protocol>
<Web_Server_Port ua="na">443</Web_Server_Port>
```

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

電話機の設定へのアクセスを制御する

電話機のウェブページまたは電話画面で、設定パラメータへのアクセスを許可またはブロックするために電話機を設定できます。アクセス制御のパラメータを使用して、次の操作を実行できます。

- 構成を作成するときに、ユーザアカウントが利用できる設定パラメータを指定します。
- 管理ウェブサーバーへのアクセスを有効または無効にします。
- 電話画面のメニューへのユーザアクセスを有効または無効にします。
- ユーザに対して表示される [パスワードの設定 (Set Password)] 画面をバイパスします。
- 電話が再同期、アップグレード、または回線1の SIP 登録のためにアクセスするインターネットドメインを制限します。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。各パラメータを設定するには、[アクセス制御パラメータ \(6 ページ\)](#) の文字列のシンタックスを参照してください。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス \(3 ページ\)](#) を参照してください。

手順

- ステップ1 [音声 (Voice)] > [システム (System)] をクリックします。
- ステップ2 システム設定 セクションで、[アクセス制御パラメータ \(6 ページ\)](#) 表に定義されているとおりにパラメーターを構成します。
- ステップ3 [すべての変更を送信](#) をクリックして変更を適用します。


アクセス制御パラメータ

次の表で、電話機のウェブインターフェイスの [音声 (Voice)] > システム (System)] タブの下にある [システム設定 (System Configuration)] セクションにおける、アクセス制御パラメータの機能と使用方法を定義します。また、パラメータを設定するために、XML コードを含む電話設定ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 1: アクセス制御パラメータ

パラメータ名	説明とデフォルト値
[Webサーバの有効化 (Enable Web Server)]	<p>電話のウェブインターフェイスへのアクセスを有効または無効にします。このパラメータを [はい (Yes)] に設定すると、ユーザまたは管理者が電話機のウェブインターフェイスにアクセスできるようになります。それ以外の場合は、このフィールドを [いいえ (No)] に設定します。 [いいえ (No)] に設定すると、電話機のウェブインターフェイスにアクセスできなくなります。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Enable_Web_Server ua="na">可</Enable_Web_Server></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、アクセスを許可するには [はい (Yes)] に設定します。 <p>有効値: はい (Yes) いいえ (No) デフォルト: はい (Yes)</p>

パラメータ名	説明とデフォルト値
<p>[Web管理アクセスの有効化 (Enable Web Admin Access)]</p>	<p>電話機の管理ページへのアクセスを許可またはブロックします。</p> <p>http://<phone_IP>/admin</p> <p>[いいえ (No)] に設定すると、管理者用のウェブページは利用できません。ユーザーのウェブページのみアクセスできます。</p> <p>(注) アクセスがブロックされた後に再度管理ウェブページへのアクセスを許可する場合は、電話機から工場出荷時の状態にリセットする必要があります。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Enable_Web_Admin_Access ua="na">可</Enable_Web_Admin_Access></pre> • 電話機のウェブインターフェイスで、アクセスを許可するにはこのパラメータを [はい (Yes)] に設定します。それ以外の場合は、このフィールドを [いいえ (No)] に設定します。 <p>有効値: はい (Yes) いいえ (No)</p> <p>デフォルト: はい (Yes)</p>
<p>Admin パスワード</p>	<p>電話機の管理ウェブページにアクセスするためのパスワードを設定したり、変更したりすることができます。</p> <p>Admin パスワードパラメータは、電話機の管理ウェブページでのみ使用できます。</p> <p>有効なパスワードは、大文字、小文字、数字、および特殊文字の4つのうち3つを使用し、4~127文字以内である必要があります。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml) を使用する電話機の設定ファイルに、次の形式で文字列を入力します。<Admin_Password ua="na">P0ssw0rd_tes89</Admin_Password> • 電話機のウェブインターフェイスで、管理者のアクセス用のパスワードを入力します。 <p>デフォルト: 空</p>

パラメータ名	説明とデフォルト値
ユーザパスワード	<p>電話機画面にある電話機のウェブインターフェイスやメニューにアクセスするためのパスワードを、ユーザ自身または電話機のユーザが設定または変更できるようにします。</p> <p>電話画面のメニュー アプリケーション  > デバイス管理 > パスワード設定 で、ユーザパスワードを設定したり変更したりすることもできます。</p> <p>有効なパスワードは、大文字、小文字、数字、および特殊文字の4つのうち3つを使用し、4～127文字以内である必要があります。</p> <p>設定ファイル(cfg.xml)では、User_Passwordパラメータを使用して、最初の起動時またはファクトリリセット後にプロンプトされるパスワードの設定画面をバイパスできます。詳細については、[パスワードの設定 (Set Password)]画面のバイパス (10 ページ) を参照してください。</p> <p>デフォルト：空</p>

パラメータ名	説明とデフォルト値
<p>[電話UIユーザモード (PhoneUIUserMode)]</p>	<p>このパラメータは、設定ファイル (cfg.xml) 内の要素タグに付加された (ua) 属性にアクセスするユーザーでのみ機能します。電話機の画面で、電話機のユーザが確認できるパラメータを制限できます。</p> <p>[はい (Yes)] に設定すると、ua属性を使用して 電話画面メニュー上の特定のパラメータへのユーザアクセスを制御できます。[いいえ (No)] に設定すると、ua属性は機能しません。</p> <p>ua属性のオプションは、「na」、「ro」、および「rw」です。「na」として指定されたパラメータは電話機の画面に表示されません。「ro」として指定されたパラメータはユーザによる編集ができません。「rw」として指定されたパラメータはユーザによる編集が可能です。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Phone-UI-User-Mode ua="na">不可</Phone-UI-User-Mode></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、電話機の設定ファイルで [はい (Yes)] に設定し、目的のパラメータのua属性を設定します。 <p>例 :</p> <pre><Phone-UI-User-Mode ua="na">Yes</Phone-UI-User-Mode> <Enable_VLAN ua="ro">Yes</Enable_VLAN> <Preferred_Audio_Device ua="rw">Headset</Preferred_Audio_Device> <Block_ANC_Setting ua="na">Yes</Block_ANC_Setting></pre> <p>この例の設定では、ユーザは、</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話画面のメニューでは、VLAN(Enable_VLAN) の設定を表示できませんが、変更できません。 優先オーディオデバイスの設定 (Preferred_Audio_Device) を変更できません。 電話画面でメニュー項目 ブロック匿名コール (Block_ANC_Setting) を表示できません。 <p>有効値: はい (Yes) いいえ (No) デフォルト : [いいえ (No)]</p>

パラメータ名	説明とデフォルト値
ユーザパスワード プロンプト	<p>ユーザパスワードセットアップ画面でプロンプトを表示するかどうかを制御します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML(cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><User_Password_Prompt ua="na">可</User_Password_Prompt></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、ユーザがプロンプトを使用できるようにするには [はい (Yes)] に設定します。 <p>有効値：はい (Yes) いいえ (No) デフォルト：はい (Yes)</p>

[パスワードの設定 (Set Password)] 画面のバイパス



(注) この機能はファームウェアリリース 11.2.3 以降では使用できません。

次のプロビジョニングアクションに基づいて、最初の起動時または初期設定へのリセット後に、電話機の [パスワードの設定 (Set Password)] 画面をバイパスできます。

- DHCP の設定
- EDOS の設定
- 電話機の XML 設定ファイルを使用したユーザパスワードの設定。

ユーザパスワードが設定されると、[パスワードの設定 (set password)] 画面が表示されなくなります。

手順

ステップ 1 テキストエディタまたは XML エディタで電話機の cfg.xml ファイルを編集します。

ステップ 2 次のいずれかのオプションを使用して `<User_Password>` タグを挿入します。

- パスワードなし (開始タグと終了タグ) `<User_Password></User_Password>`
- パスワード値 (4 ~ 127 文字) `<User_Password >Abc123</User_Password>`
- パスワードなし (開始タグのみ) `<User_Password />`

ステップ 3 変更内容を cfg.xml ファイルに保存します。

初回起動時または工場出荷時のリセット後に **パスワードの設定** 画面が表示されません。パスワードを指定した場合、ユーザは電話機のウェブインターフェイスまたは電話画面のメニューにアクセスするときにパスワードの入力を求められます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。